

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	遠野地域福祉事業所こむこむはうす			
○保護者評価実施期間	令和7年2月5日 ～ 令和7年2月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	令和7年1月28日 ～ 令和7年2月13日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数)	13
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	プログラム内容が充実している	・ 製作活動（月 1 回）、読み聞かせ（週 1 回）を年間通して実施している。発達段階に合わせたグループ分けを行い、個別に支援する機会を作っている。 ・ 季節の行事、季節に合った体験を企画している。	・ こども達の考えややりたい気持ちを尊重し、楽しいと感じられるような活動を今後も取り入れていく。 ・ 定期的にスタッフ会議を行い、プログラムの見直しを行う。
2	こども、保護者からの満足度が高い	・ 多様な経験・資格を持ったスタッフが、それぞれの強みを生かせるような役割分担を行い、日々の支援にあたっている。	・ 様々な研修に参加し、支援の質の向上を図る。 ・ 将来的にもスタッフを安定して配置できるよう、計画的な採用をすすめていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの活動スペース確保	幅広い年齢層が過ごし、活動内容によって運動量が多くなる日もある。	・ 地域の体育館を利用したり、外へでかける機会を今後も作っていく。 ・ 活動内容により、パーテーションを活用してスペースを分ける。 ・ 学習室や静養室も活用していく。
2	非常時等の対応に関する情報発信	各種マニュアルを策定し、定期的な避難訓練を実施している。しかし、情報発信が弱く、保護者様へしっかりと伝わっていない現状がある。	・ 契約時の説明を、紙面により丁寧に行う。 ・ 通信での発信だけではなく、保護者会での情報共有も行う。
3	家族等も参加できる研修会や情報提供	開設当初には、ペアレントトレーニングの研修を行った。その後、感染症予防で集まる機会が少なくなった。外部主催の研修案内も、事業所玄関への掲示のみになっている。	・ 個別の課題に合わせた情報提供や研修会の案内を、面談時や保護者会の中で共有していく。 ・ 保護者様の要望も聞きながら、事業所内で研修が実施できるよう検討していく。